

公共交通に関する市民要望等一覧（平成28年11月～平成30年1月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
1	平成28年11月	バス路線 新設	草加市北部から越谷レイクタウン駅までのバス路線の新設してほしい。	ご提案のありましたバス路線については、草加市とも情報を共有しながら検討していきます。
2	平成29年2月	バス路線 新設	中島地区へのバス路線を新設してほしい。	新規バス路線の開設にあたっては、バス事業者からは、集客による採算性、路線バスの走行環境の整備（道路幅員等）、バス運転手の確保などの課題があると考えております。市では、現在、越谷市地域公共交通網形成計画に基づき、鉄道や路線バスが利用しづらい地域（市内7地区）において、公共交通地区懇談会を開催し、当該地域の皆さまのご意見を伺いながら、市民の皆さまとの連携による新たな公共交通の仕組みの形成に向け検討を進めています。
3	平成29年3月	バス路線 高速バス・空港連絡バスの延伸	越谷駅から高速バス、空港連絡バスを運行してほしい。	現在、新越谷駅西口からは、郡山駅前行きの高速乗合バス「あだたら号」、成田空港行きの空港連絡バス「しらこぼと号」、羽田空港行きの空港連絡バスが、東武バスセントラル株式会社等により運行されております。運行事業者によりますと、「越谷駅からの発着は、駅周辺の道路渋滞が懸念され、バス運行の定時性や速達性が損なわれる可能性が高く、また、運行経路を延伸することにより、トイレ付きのバス車両の確保する必要があります。さらに、トイレ付きバス車両は、乗車できる人数が現在のバス車両よりも少ないため、現在の利用状況を踏まえると、運行本数を増加させる必要がありますが、更なるバス車両やバス運転手の確保などの課題が生じます。そのため、新越谷駅以北を走行する高速バス、空港連絡バスのご要望があることは認識しておりますが、いただきましたご提言については、社内で情報共有し、参考とさせていただきたい。」と伺っております。 本市としましては、バスは市民の皆さまの貴重な交通機関であるとともに、鉄道を補完する公共交通の役割を担っておりますので、今後とも、バス路線の充実や利便性の向上に向け、バス事業者と協力しながら取り組んでまいります。
4	平成29年3月	鉄道 高架化、利用促進、安全対策	東武スカイツリーラインの課題について～北越谷以北の高架化、鉄道の利用促進、駅ホームの安全対策～	北越谷以北の鉄道高架については、事業に伴う財政負担や既設道路との交差部における技術的な問題などの課題があるため、長期的な視点から諸課題を検討していきます。また、鉄道利用の促進については、「こしがや公共交通ガイドマップ」を市民の皆さまに配布するとともに、「広報こしがや」や本市公式ホームページ上においても、公共交通に関する情報を発信し、利用促進を図っています。さらに、駅ホームの安全性の確保については、形成計画の実施事業に「駅のバリアフリー化」を位置付けて、国や県と連携し、ホームドアや内方線付き点状ブロックの設置について、協力していくとしております。 今後は、鉄道事業者による内方線付き点状ブロック等の実施計画を踏まえ、国・県とも連携し、鉄道事業者に対する財政的支援を検討していきます。
5	平成29年3月	バス路線 新設	大袋駅西口を活用したバス路線（しらこぼと水上公園、浦和美園駅行き）を新設してほしい。	越谷市地域公共交通網形成計画において、大袋駅西口を発着するバス路線の新設については、土地区画整理事業などのまちづくりの進捗状況を勘案して整備を図ることとしています。当バス路線の整備については、都市計画道路「大袋駅西口線」の車道部が、平成28年度中に暫定開通できるよう整備を進めていることから、バス事業者と運行ルートなどについて具体的な協議をしております。ご提案のありました大袋駅西口からしらこぼと水上公園や浦和美園行きのバス路線の新設については、大袋地区内のバス路線の整備状況を踏まえ、市民の皆さまのご意見を伺いながら、検討していきます。 ⇒平成29年11月1日より朝日自動車株式会社により「せんげん台駅～大袋分置前～大袋駅西口」線の運行を開始。
6	平成29年3月	バス路線 新設	西大袋地区内のバス路線を早期実現してほしい。	大袋地区内のバス路線の拡充については、都市計画道路「大袋駅西口線」の車道部が、平成28年度中に暫定開通できるよう整備を進めていることから、バス事業者と運行ルートなどについて具体的な協議をしております。今後とも、大袋駅西口を発着するバス路線の早期実現に向けて、市民の皆さまのご意見を伺いながら、バス事業者と連携し、取り組んでまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。 ⇒平成29年11月1日より朝日自動車株式会社により「せんげん台駅～大袋分置前～大袋駅西口」線の運行を開始。
7	平成29年4月	コミュニティバスの運行	新越谷駅を基点としたコミュニティバスを導入し、バス路線の充実を図ってほしい。	現在のところ、本市ではコミュニティバスの運行計画はございませんが、越谷市地域公共交通網形成計画では、各公共交通機関の役割を明確にし、既存の公共交通網を活用していただく一方で、鉄道や路線バスが利用しづらい地域では、公共交通の確保に向け、市民の皆さま、公共交通事業者及び本市の協働体制で取り組んでいくこととしています。 そのため、本市では、鉄道や路線バスが利用しづらい地域（市内7地区）において、公共交通地区懇談会を開催し、市民の皆さまの意向を把握したうえで、市民の皆さまや市の役割分担、受益者負担などの仕組みづくりの具体化に向けて取り組んでいます。 また、持続可能な公共交通網の形成のためには、市民の皆さまが日常生活に少しずつ、鉄道、路線バス及びタクシーなどの公共交通を取り入れていただくことが重要と考えております。そのため、市では、市内の鉄道、路線バス及びタクシーなどの公共交通に関する情報を掲載した「こしがや公共交通ガイドマップ」を作成し、市民の皆さまに配布するなど公共交通の利用促進を図っております。 今後、形成計画に位置付けました「バス停利用環境の改善、サイクルアンドバスライド拠点（路線バス利用者も駐輪できる施設）の整備、駅のバリアフリー化、案内マップ・利用促進ツールなどの作成」などの事業を展開するため、引き続き、協議会や公共交通地区懇談会を開催するなど、市内の公共交通の充実に向けて取り組んでいきます。
8	平成29年5月	公共交通の利用促進	こしがや公共交通ガイドマップを越谷警察署に備え置いてほしい。	高齢者等による交通事故が多発しているなか、埼玉県内におきまして、運転免許を自主返納する高齢者が多くなってきていると考えておりますので、越谷警察署と調整し、運転免許の自主返納者の方に「こしがや公共交通ガイドマップ」を配布できるよう検討してまいります。 ⇒越谷警察署において平成29年5月30日よりこしがや公共交通ガイドマップを配布開始（平成29年5月26日、400部、平成30年1月16日、200部追加）

公共交通に関する市民要望等一覧（平成28年11月～平成30年1月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
9	平成29年6月	鉄道 終電の延伸	越谷レイクタウン駅の終電の延長してほしい。	「越谷レイクタウン駅の終電時間の延長」につきましては、毎年、東日本旅客鉄道株式会社に対し、武蔵野線沿線自治体で組織する武蔵野線旅客輸送改善対策協議会を通じて、夜間の列車の増発及び運行時間の延長を図る旨の要望書を提出しておりますが、東日本旅客鉄道株式会社からは貨物列車の運行時間の調整や、列車運行の安全確保に重要な要素となる運転設備等のメンテナンス作業時間を確保する必要があることから、当該終電時間の見直しは現状では困難であると回答をいただいております。 なお、東武バスセントラル株式会社では、ＪＲ武蔵野線南越谷駅止まりの最終電車に合わせ、吉川、三郷方面へ向かわれる利用者の方へ、深夜急行バス「ミッドナイトアロー吉川・三郷・南流山線」を平日運行しております。平成28年11月25日から当バス路線が越谷レイクタウンエリア内に「レイクタウン北」「越谷レイクタウン駅入口」の各停留所を新設し、乗り入れを開始しておりますので、ご案内させていただきます。
10	平成29年6月	鉄道 安全対策	東武鉄道株式会社によるホームドア整備計画では、大袋駅、せんげん台駅はホームドアの整備計画に位置付けられていないが、鉄道事業者へのホームドア整備への働きかけは。	大袋駅とせんげん台駅のホームドアの整備については、その必要性を認識しており、今後、東武鉄道株式会社が作成する整備計画に合わせ、埼玉県と連携し、調査・検討していきます。 本年度のバリアフリー化対策については、東武鉄道株式会社がせんげん台駅ホームに内方線付き点状ブロックを整備する予定であるため、国や埼玉県と連携し、財政的支援を行っていきます。 また、ホームドアや内方線付き点状ブロックなど、駅ホームからの転落防止のためのハード対策に加え、ソフト対策として、埼玉県及び鉄道事業者と連携し、視覚障がい者の方への声かけやサポート方法を広く普及するため「駅ホーム声かけサポート講習会」を実施してまいります。 ⇒平成29年10月27日、駅ホーム声かけサポート講習会を開催 ⇒平成30年1月11日、せんげん台駅の内方線付き点状ブロック整備事業の完了
11	平成29年7月	バス路線 新設	せんげん台駅からしらこぼと水上公園行きのバス路線を新設してほしい。	ご要望のありましたバス路線について、バス事業者に情報提供したところ、バス路線の新設にあたっては、採算性の確保のほか、バス車両やバス運転手の確保が課題となり、現在、開設の予定はありませんが、社内で情報共有し、参考とさせていただきたいとのことです、
12	平成29年7月	バス路線 新設	大間野三・四・五丁目の区域を運行するバス路線を新設してほしい。	平成28年3月に策定した越谷市地域公共交通網形成計画では、「利便性が高く持続可能な公共交通網の形成」を基本方針とし、鉄道駅からの距離が1kmもしくはバス停からの距離が300m以上の鉄道や路線バスを利用しづらい地域において、市民の皆さまとの連携による新たな公共交通の導入に向けた仕組み、いわゆるガイドラインの作成を位置付けております。 そのため、本市では、平成28年度に、ガイドラインの作成に向け、地域の皆様の意向を把握するため、出羽地区を含む市内7地区（荻島・出羽・大相模・大袋・新方・桜井・増林）において、公共交通地区懇談会を開催いたしました。 その結果、新たな公共交通の導入に向けた事業主体、受益者負担の仕組み、新たな公共交通のあり方などの諸課題について整理し、具体化する必要があると認識しております。 今後につきましては、ガイドラインの作成の他、形成計画に位置づけました実施事業の展開や公共交通に関する市民の皆さまからのご要望につきましても、引き続き、越谷市地域公共交通協議会において情報提供を行うとともに、市民の皆さまとの公共交通地区懇談会を開催しながら、市内の公共交通の充実に向け、市が中心となって計画的に検討してまいります。
13	平成29年7月	鉄道 高架化	ＪＲ武蔵野線の高架化してほしい。	ＪＲ武蔵野線の鉄道高架化は、事業が広域にわたり、かつ事業費も膨大となることから、本市単独での取り組みではなく、本市が構成団体となっております「武蔵野線旅客輸送改善対策協議会」を通じて、可能性を含め検討していただく旨の要望を行っております。昨年度につきましても、同協議会を通じ、東日本旅客鉄道株式会社に「東川口駅～南越谷駅間の盛土区間の路線の高架化」について要望を行いました。同社によりますと鉄道を高架化するためには周辺地域等の基盤整備も併せて行う必要があることや、整備に伴う事業費が膨大となることから、現在のところ高架化する計画はないと伺っております。 本市といたしましては、地区の分断要素解消等の観点に加え、気候変動がもたらす集中豪雨等による土砂崩れ等の災害リスクに対し、防災機能向上の観点から適切な対応が図れるよう、鉄道高架化について、同協議会を通じて、引き続き東日本旅客鉄道株式会社へ要望を行ってまいります。
14	平成29年8月	バス路線 新設	大間野三・四・五丁目の区域を運行するバス路線を新設してほしい。	受付番号12と同様
15	平成29年9月	バス路線 新設	大間野四・五丁目の区域を運行するバス路線を新設してほしい。	受付番号12と同様
16	平成29年10月	バス路線 増便	越谷駅西口を走行するバス路線の本数が少ないので増便してほしい。	ご提案の「越谷駅西口におけるバス増便」につきましては、早速、バス事業者へ情報提供をいたしました。バスの増便につきましては、採算性の確保のほか、バス車両やバス運転手の確保などが課題となり、現在のところ、バス事業者では増便する予定はないとのことですが、いただきましたご提案は、社内で情報を共有し、参考とさせていただきたいとの回答をいただいております。 市では、平成28年3月に策定しました「越谷市地域公共交通網形成計画」において、バス路線の維持・充実に位置付けて、市民の皆さま、バス事業者、市が連携し実現に努めるとしております。引き続き、バス事業者と情報を共有し、バス路線の維持・充実に向けて連携を図ってまいります。
17	平成29年10月	バス路線 バス停の設置	バス路線の延伸に伴い、大道入口と第一公園入口の2つのバス停を廃止せざるを得なかったのは理解できるが、廃止するバス停付近の利用者のことを配慮し、せめて、平成21年7月26日までバス停として利用していた「旧の大道入口（第五公園入口といきいき農園の間にあったバス停）」を設置（復活）してほしい。	ご要望のありました「バス停の設置」につきましては、現在、当該バス路線を運行する朝日自動車株式会社では、ご要望のありました「第五公園入口」と「いきいき農園」の間にバス停を設置することにつきましては、バス停周辺にお住まいの皆さまのご理解とご協力のほか、バス停周辺の安全性の確保などが必要となり、現在のところ、ご要望の位置にバス停を設置する予定はございませんが、いただきましたご要望につきましては、社内で情報共有し、参考とさせていただきたいとのことでございます。 市としましては、今後とも、身近な公共交通機関としてのバス路線の役割を念頭に置きながら、バス路線の更なる利便性の向上を図るため、引き続き、バス事業者に要望してまいります。

公共交通に関する市民要望等一覧（平成28年11月～平成30年1月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
18	平成29年12月	バス路線 新設	一刻も早い平方地区のバス路線の新設の着手とバス路線を新設するための補助金等の予算の設定を求める。	本市では、平成28年3月に策定した越谷市地域公共交通網形成計画の実施事業のひとつとして、「せんげん台駅東口から平方方面へのバス路線の新設」の検討を位置付けて、平方公園の整備などのまちづくりと連携し、バス事業者により、バス路線の整備を図るものとしております。 そのため、平方方面へのバス路線については、平方公園の整備スケジュールを勘案し、市民の皆さまやバス事業者のご意見などを伺いながら、バス路線の新設の実現に向けて、国、埼玉県、越谷市、公共交通事業者、市民の皆様から構成された越谷市地域公共交通協議会等を通じて、バス事業者に働きかけてまいります。 また、バス路線を新設するための行政の費用負担については、形成計画では位置付けておりませんが、市民の皆さま、公共交通事業者、市が各々の役割を果たす中で、3者が連携しながら、利便性が高く持続可能な公共交通網の形成に努めてまいります。
19	平成30年1月	バス路線 新設（循環バス）	出羽地区（新川町一丁目）を循環するバス路線を新設してほしい。また、「新越谷駅西口～七左七丁目・出羽地区センター線」の終点を全て「出羽地区センター」にしてほしい。	ご要望の「新川町一丁目を循環するバス路線の開設」及び、「新越谷駅西口～七左七丁目・出羽地区センター線の延長・運行経路変更」についてですが、朝日自動車株式会社に確認したところ、「今のところ予定はありませんが、今回のご要望については、貴重なご意見として参考とさせていただきます。」と伺っております。 また、路線の開設については、バス事業者からは、バス運転手の確保、集客性や採算性、更にはバスの定時運行や走行環境、停留所・待避所の確保等の諸課題の解決がバス路線の拡充や新設の条件になるとの考え方が示されており、現段階においては既存路線の拡充や新規路線の実現は困難な状況です。 なお、「新越谷駅西口～七左七丁目・出羽地区センター線」につきましては、平成29年12月25日より、「出羽地区センター」まで運行するバス路線が増便となっておりますので、ご案内させていただきます。 今後につきましては、形成計画に位置づけております、市民の皆さま、公共交通事業者、市が各々の役割を果たす中で、3者が連携しながら、利便性が高く持続可能な公共交通網の形成に努めてまいります。
20	平成30年1月	タクシー 増車	越谷レイクタウン駅北口のタクシーが少ない。市としての何らかの手立てはないのか。	お問い合わせのありました事項について、タクシー事業者から構成される「越谷市市管理構内協議会」に確認しましたところ、「当協議会の構成事業者により、市内の鉄道駅8駅の駅前広場などにタクシーを配車しておりますが、駅毎の担当事業者は決定しておりません。また、お客さまのタクシー利用状況に応じて、配車しておりますが、時期や時間帯によっては、事業者への連絡が取れないこともございますので、ご理解いただきたい。」とのことです。 本市といたしましては、公共交通利用者の利便性の向上を図るため、越谷レイクタウン駅へのタクシーの配車への配慮について、越谷市市管理構内協議会に情報提供してまいります。
合計		合計 20件（鉄道関係 4件、バス関係 14件、タクシー関係 1件、その他 1件）		